

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1年前期	1	2	選択
担当教員			
朴 喜貞			
添付ファイル			

講義概要	本授業は韓国語を初めて勉強する学生を対象とした初級クラスで韓国語の基礎を学習する。後期の授業での会話と文法を勉強する上で不可欠であるハングル文字の仕組みと発音を正確に習得する。基本的な文型を覚えると同時に日常生活によく使われるフレーズや挨拶、数字などを覚えて韓国語に親しんで行くようにする。		
授業計画	1	<p>韓国語とハングルの全般的なガイダンス／ハングルの基本仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・15回の授業の詳細な内容の説明</li> <li>・ハングルの基本的な仕組みの説明</li> </ul> <p>【授業目標】 講義の内容や流れを明確にするとともに、ハングルの基本仕組みを理解 (AL①)</p> <p>【準備学習】 シラバスの内容を確認する。</p> <p>【課題】 次回の授業内容を確認して質問できるようにする。</p>	
	2	<p>ハングルの文字と発音</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本子音 (14音) の書き方及び読み方の学習</li> <li>・基本母音 (10音) の書き方及び読み方の学習</li> <li>・子音字と母音字の組み合わせ及び正確な発音の学習</li> </ul> <p>【授業目標】 基本の子音と母音の発音、書き方、読み方や組み合わせを習得 (AL①)</p> <p>【準備学習】 テキストP10～15の内容を予習すること。同封のCDの該当部分を参照すること。</p> <p>【課題】 基本子音及び母音を復習し、理解を深める。</p>	
	3	<p>ハングルの文字と発音</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子音の濃音 (5音) の書き方及び読み方の学習</li> <li>・複合母音 (11音) の書き方及び読み方の学習</li> <li>・子音字と母音字の組み合わせ及び正確な発音の学習</li> </ul> <p>【授業目標】 濃音と複合母音の発音、書き方、読み方を習得 (AL①)</p> <p>【準備学習】 テキストP15～P23の内容を予習すること。同封のCDの該当部分を参照すること。</p> <p>【課題】 子音の濃音及び複合母音の発音、書き方を復習し、理解を深める。</p>	
	4	<p>バッチム, 二重バッチム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バッチムのいろいろなパターンの学習</li> <li>・バッチムの書き方、発音の学習</li> </ul> <p>【授業目標】 バッチムの形や発音を習得 (AL①)</p> <p>【準備学習】 テキストP24～27の内容を予習すること。同封のCDの該当部分を参照すること。</p> <p>【課題】 バッチムの発音と書き方を復習し、理解を深める。</p>	
	5	<p>発音の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連音化、流音化、激音化、口蓋音化、鼻音化の学習</li> </ul> <p>【授業目標】 発音変化のルールを習得 (AL①)</p> <p>【準備学習】 テキストP30～34の内容を予習すること。同封のCDの該当部分を参照すること。</p> <p>【課題】 発音の変化の各ルールをしっかりと覚える。</p>	
	6	<p>挨拶と教室での表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の挨拶の言葉の学習</li> <li>・韓国語の授業時間によく使う教室の表現の学習</li> </ul> <p>【授業目標】 いろんなシチュエーションでの挨拶を練習 (AL①、AL②)</p> <p>【準備学習】 テキストP35～38の内容を予習すること。同封のCDの該当部分を参照すること。</p> <p>【課題】 次の授業から韓国語で挨拶できるように挨拶の表現を反復練習する。</p>	
	7	<p>ダイアログ1 『私は浅井ゆかりです』と学習ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会話の解説ポイントの説明</li> <li>・ボキャブラリーの習得</li> </ul> <p>【授業目標】 S(主語)+V(動詞)の基本形文の習得 (AL①、AL②)</p> <p>【準備学習】 テキストP40～45の内容を予習すること。同封のCDの該当部分を参照すること。</p> <p>【課題】 基本形文及び新しいボキャブラリーを覚える。</p>	
	8	<p>ダイアログ1 『私は浅井ゆかりです』の練習問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会話と表現編：名詞文&lt;名詞+～です&gt;、助詞&lt;～は&gt;</li> <li>・ボキャブラリーの習得</li> </ul> <p>【授業目標】 正しい助詞を使って名詞文を作ること。簡単な自己紹介ができること (AL①、AL②)</p> <p>【準備学習】 テキストP40～45の内容を予習すること。同封のCDの該当部分を参照すること。</p> <p>【課題】 練習問題及び新しいボキャブラリーを復習する。</p>	
	9	<p>ダイアログ2 『出身はソウルですか』と学習ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会話と表現編：疑問文&lt;～ですか&gt;、助詞&lt;～が&gt;</li> <li>・バッチムの有無による助詞の変化の習得</li> </ul> <p>【授業目標】 新しく学んだ単語を利用し、多彩な会話ができること (AL①、AL②)</p> <p>【準備学習】 テキストP46～51の内容を予習すること。同封のCDの該当部分を参照すること。</p> <p>【課題】 練習問題及び新しいボキャブラリーを復習する。</p>	

	10	<p>ダイアログ2『出身はソウルですか』と練習問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の呼称の習得</li> <li>・助詞(〜が)、疑問形(〜ですか)を練習問題でしっかり復習</li> <li>【授業目標】自分の家族の紹介ができること(AL①、AL②)</li> <li>【準備学習】テキストP46～51の内容を予習すること。同封のCDの該当部分を参照すること。</li> <li>【課題】練習問題及び新しいボキャブラリーを復習する。</li> </ul>
	11	<p>ダイアログ3『図書館ではありません』と学習ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞文の否定型&lt;〜ではありません&gt;、否定の疑問型&lt;〜ではありませんか&gt;</li> <li>・建物や場所のボキャブラリーの習得</li> <li>【授業目標】名詞文の否定型の構造と代名詞をしっかり身につけること。(AL①、AL②)</li> <li>【準備学習】テキストP52～57の内容を予習すること。同封のCDの該当部分を参照すること。</li> <li>【課題】練習問題及び新しいボキャブラリーを復習する。</li> </ul>
	12	<p>ダイアログ3『図書館ではありません』と練習問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞文の否定&lt;〜ではありません&gt;、代名詞&lt;この、その、あの、どの&gt;</li> <li>・否定疑問型&lt;〜ではありませんか&gt;</li> <li>【授業目標】新しく学んだ否定文を使ってより複雑な会話ができること(AL①、AL②)</li> <li>【準備学習】テキストP52～57の内容を予習すること。同封のCDの該当部分を参照すること。</li> <li>【課題】練習問題及び新しいボキャブラリーを復習する。</li> </ul>
	13	<p>ダイアログ4『時間がありますか』と学習ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・&lt;います/あります&gt;、&lt;いません/ありません&gt;(存在の表現)</li> <li>・助詞&lt;〜と&gt;、&lt;〜には&gt;</li> <li>【授業目標】物や人、動物などの存在を説明する表現を習得(AL①、AL②)</li> <li>【準備学習】テキストP58～63の内容を予習すること。同封のCDの該当部分を参照すること。</li> <li>【課題】練習問題及び新しいボキャブラリーを復習する。</li> </ul>
	14	<p>ダイアログ4と練習問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・&lt;います/あります&gt;、&lt;いません/ありません&gt;を使った例文の練習</li> <li>・趣味に関するボキャブラリーの習得</li> <li>【授業目標】名詞文と存在の表現の違いを理解し、区別することができること(AL①、AL②)</li> <li>【準備学習】テキストP58～63の内容を予習すること。同封のCDの該当部分を参照すること。</li> <li>【課題】練習問題及び新しいボキャブラリーを復習する。</li> </ul>
	15	<p>総括</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本授業で学んだすべての内容のとりまとめ</li> <li>【授業目標】本授業で習得したすべての内容を確認しながら最終整理する。(AL①、AL②)</li> <li>【準備学習】全授業内容が説明できるようにする。</li> </ul>
	16	<p>期末試験</p>
授業形態	<p>講義/宿題 アクティブラーニング：①：15、②：10、③：0、④：0、⑤：0、⑥：0</p>	
達成目標	<p>1. 韓国語の文字であるハングルを正しく読み、書くことができる。(基礎) 2. 初級レベルの文法の運営能力と会話能力の向上を目指す。(基礎) 3. 身近な話題(名前、年齢、家族構成、エンタテインメントなど)について簡単な会話や作文ができる。</p>	
評価方法・フィードバック	<p>教科書に収録されている練習問題の解答提出 10% 授業への取り組み 20% 小テスト及び課題 30% 期末テスト 50%</p>	
評価基準	<p>秀(S)：90点以上、優(A)：89～80点、良(B)：79～70点、可(C)：69～60点、不可(D)：59点以下</p>	
教科書・参考書	<p>「基本から学ぶ韓国語講座初級」、著者：木内明、出版社：国書刊行会 【参考書】資料配布</p>	
履修条件	<p>特になし。</p>	
履修上の注意	<p>講義には必ず出席すること。必ず辞書を持参すること。各課の新語を覚えること。</p>	
準備学習と課題の内容	<p>授業計画中に記載されている「準備学習」の内容(1.5時間)を必ず行うこと。 授業計画中に記載されている「課題」の内容(1.5時間)を必ず行うこと。</p>	
ディプロマポリシーとの関連割合(必須)	<p>知識・理解：30%、思考・判断：20%、関心・意欲：25%、態度：15%、技能・表現：10%</p>	
DP1 知識・理解		
DP2 思考判断		
DP3 関心意欲		
DP4 態度		
DP5 技能・表現		